

平成27年度

東京の 中小企業の 現 状

製造業編



東京都産業労働局

平成27年度

東京の中小企業の現状

(製造業編)

東京都産業労働局

平成27年度 「東京の中小企業の現状（製造業編）」の発刊にあたって

近年の日本経済は、全体として緩やかな回復基調が続くなかで、大企業を中心に良好な収益環境が持続し、雇用・所得環境も改善がなされてきました。しかし、このところの海外経済の減速や、引き続き個人消費の回復の遅れなどの影響もあり、今後、景気が下押しされるリスクもみられます。

とりわけ、都内中小企業を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況にあります。東京都が毎月実施している「中小企業の景況」調査においても中小企業の業況は、消費税の増税後、回復に力強さを欠き停滞感が続いています。

今回の「東京の中小企業の現状（製造業編）」では、このような厳しい経営環境下における都内製造業の経営実態や経営課題を明らかにするとともに、技術・技能を磨き、競争力向上に取り組んできた中小製造業の現状を分析しています。さらに、外部環境の変化に対応した持続的な経営について、調査テーマとして取り上げました。

都内中小企業の皆様には経営方針・経営戦略策定の一助として、また、関係機関の皆様には産業振興の基礎資料として、この「東京の中小企業の現状」をご活用いただければ幸いです。

最後に、本書につきましては、有識者の皆様より貴重なご意見を賜りました。本書の作成にあたり、ご協力いただきました有識者の皆様、また、中小企業の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

東京都産業労働局商工部長 松永 竜太

目 次

第Ⅰ編 東京の製造業の現状と変化（既存統計分析）

第1章 国内・都内総生産に占める製造業の割合	3
1 国内総生産の推移	3
2 都内総生産の推移	4
3 国内総生産に占める製造業の割合	5
4 都内総生産に占める製造業の割合	6
第2章 都内製造業の概要と変化	7
1 都内製造業の概要	7
2 都内製造業の変化	10
3 業種別の動向	16
4 区部と多摩地域の比較	20
5 生産指数と出荷指数	25
6 設備投資額とその推移	27
第3章 東京の中小製造業の経営動向	29
1 業況判断	29
2 採算状況	31
3 資金繰り状況	32
4 雇用人員の状況	33
5 設備投資の状況	34
6 都内中小企業の財務状況	35

第Ⅱ編 東京の製造業の経営実態（アンケート結果）

第1章 企業概要	42
第1節 回答企業の概要	42
1 調査概要	42
2 業種	42
3 所在地	44
4 従業者規模	45
5 創業年	46
6 創業の経緯	48
7 全従業者の平均年齢	50
8 経営者の年齢	51
9 経営者の続柄・出身	52
第2節 業務内容	54
1 業務範囲	54

2	保有する「ものづくり基盤技術」	56
3	工場等の所在地	57
4	親会社の有無	58
第3節	事業承継	60
1	事業承継の希望・方針	60
2	現実の後継者の状況	62
3	事業承継上の課題	64
第2章	売上高とその動向	66
第1節	売上高の状況	66
1	直近の売上高	66
2	3年前と比較した売上高の変化	68
3	6年前と比較した売上高の変化	70
第2節	売上高経常利益率の状況	72
1	直近の売上高経常利益率	72
2	3年前と比較した経常損益の変化	74
第3章	営業・販売の状況	76
第1節	得意先の状況	76
1	得意先の件数	76
2	主要得意先の所在地	78
3	売上高第1位の得意先の属性	80
4	売上高第1位の得意先への売上依存度	82
5	得意先との関係（価格）	84
6	得意先との関係（納期）	86
7	取引における強み	88
第2節	系列取引の状況	90
1	系列取引の状況	90
2	系列取引の割合	91
3	系列取引売上高の変化	92
第3節	輸出の状況	94
1	輸出の状況	94
2	輸出額の割合	96
3	輸出額の変化	98
第4節	立地環境	100
1	都内立地のメリット	100
2	移転・拡張の予定	102
3	都内立地における課題	104

第4章 人材と技能継承	106
第1節 人材採用	106
1 従業員の雇用状況	106
2 正規従業員数の変化	108
3 全従業者数の変化	110
4 人材採用意向	112
第2節 人材育成	114
1 充実させたい能力	114
2 人材育成の手法	116
3 人材育成上の問題点	118
第3節 技能継承	120
1 熟練技能者の退職への対応	120
2 技能継承問題の解決の見通し	122
第5章 競争力向上に向けた取組	124
第1節 競争力の向上	124
1 付加価値を獲得している業務	124
2 付加価値向上に向けた取組	126
3 生産性向上に向けた取組	128
4 I Tの活用状況	130
5 製品・技術とあわせて提供しているサービス	132
6 社外との連携	134
7 経営における重視事項	136
第2節 今後の事業展開	138
1 今後の事業展開の方向性	138
2 拡充・進出したい事業分野	140

第Ⅲ編 東京の製造業に関するテーマ分析（アンケート結果）

第1章 外部環境変化に対応した持続的経営	146
第1節 業績低迷時期と外部環境変化	146
1 業績が最も低迷した時期	146
2 経営に影響を与えた外部環境の変化	148
第2節 業績低迷時期の対応	150
1 設備投資予算	150
2 研究開発予算	152
3 従業員数	154
4 人件費	156
5 営業経費	158

6	金融機関からの借入	160
7	業績の維持・回復に有効だった取組（設備投資予算等の対応）	162
第3節	外部環境の変化への対策	164
1	強化した取組	164
2	業績の維持・回復に有効だった取組（設備投資予算等の対応を除く）	166
3	持続的経営に向けて今後取り組みたいこと	168
第2章	経営戦略と持続的経営	171
第1節	成長企業の特徴と取組	171
1	成長企業の状況	171
2	成長企業の取引における強み	172
3	成長企業の付加価値向上に向けた取組	174
4	成長企業の生産性向上に向けた取組	176
5	成長企業の経営における重視事項	178
第2節	老舗企業の特徴と取組	180
1	老舗企業の属性	180
2	老舗企業の売上高第1位の得意先の属性	181
3	老舗企業の売上高第1位の得意先への売上依存度	182
4	老舗企業の取引における強み	183
5	老舗企業における付加価値向上に向けた取組	184
6	老舗企業の経営における重視事項	185

資料

「東京の中小企業の現状」のための企業調査の概要

東京の中小企業の現状に関する調査 アンケート票

凡 例

1 本報告書における区分

本報告書における調査では、企業を日本標準産業分類を用い、以下のように区分している。

(1) 業種区分

食品・飲料	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業
衣料・身の回り品	繊維工業、なめし革・同製品・毛皮製造業
住宅・建物	木材・木製品製造業、家具・装備品製造業
紙・印刷	パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業
材料・部品〔非金属〕	化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業
材料・部品〔金属〕	鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業
一般・精密機械	はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業
電機・電子	電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業
その他	その他の製造業

※ ただし、他の調査結果からの引用については、この限りではない。

(2) 規模区分（従業者規模）

「1～3人」、「4～9人」、「10～29人」、「30～99人」、「100人以上」の5区分

※ ただし、他の調査結果からの引用については、この限りではない。

(3) 地域区分

都心	千代田区、中央区、港区
副都心	新宿区、文京区、渋谷区、豊島区
城東都心近接	台東区、墨田区、荒川区
城東周辺	江東区、足立区、葛飾区、江戸川区
城西	世田谷区、中野区、杉並区、練馬区
城南	品川区、目黒区、大田区、
城北	北区、板橋区
多摩	多摩地域の市町村
島しょ	対象外地域

※ 城東については企業数が多いため、城東都心近接と城東周辺の2つに区分した。

2 調査の内容

本報告書を作成するにあたり、東京都内に立地する製造業 10,000 社を対象とした「東京の中小企業の現状に関する調査」及び製造業 40 社を対象としたヒアリング調査を実施した。各調査結果は、第Ⅱ編・第Ⅲ編で使用している。

なお、本文中「前回調査」として記載しているものは、「平成 24 年度東京の中小企業の現状（製造業編）」における調査結果である。

3 図表の見方及び分析に関する注意事項

- 調査結果の回答比率は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 複数回答の図表上部の棒グラフは、今回調査（全体）の値を表す。
- 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- クロス集計の項目に無回答がある場合、これを表示していない。よって全体の数値と各項目の和が一致しない場合がある。
- クロス集計の項目において、回答者数の少ない属性については、分析・コメントの対象としていない。
- 選択肢に「その他」がある場合、本文中ではその数値を除外して記述をしている場合がある。
- 各設問の分析における文章表記において、次の様にカッコを用いている。

「***」 設問の選択肢について言及する場合。

例：「都心」「副都心」など

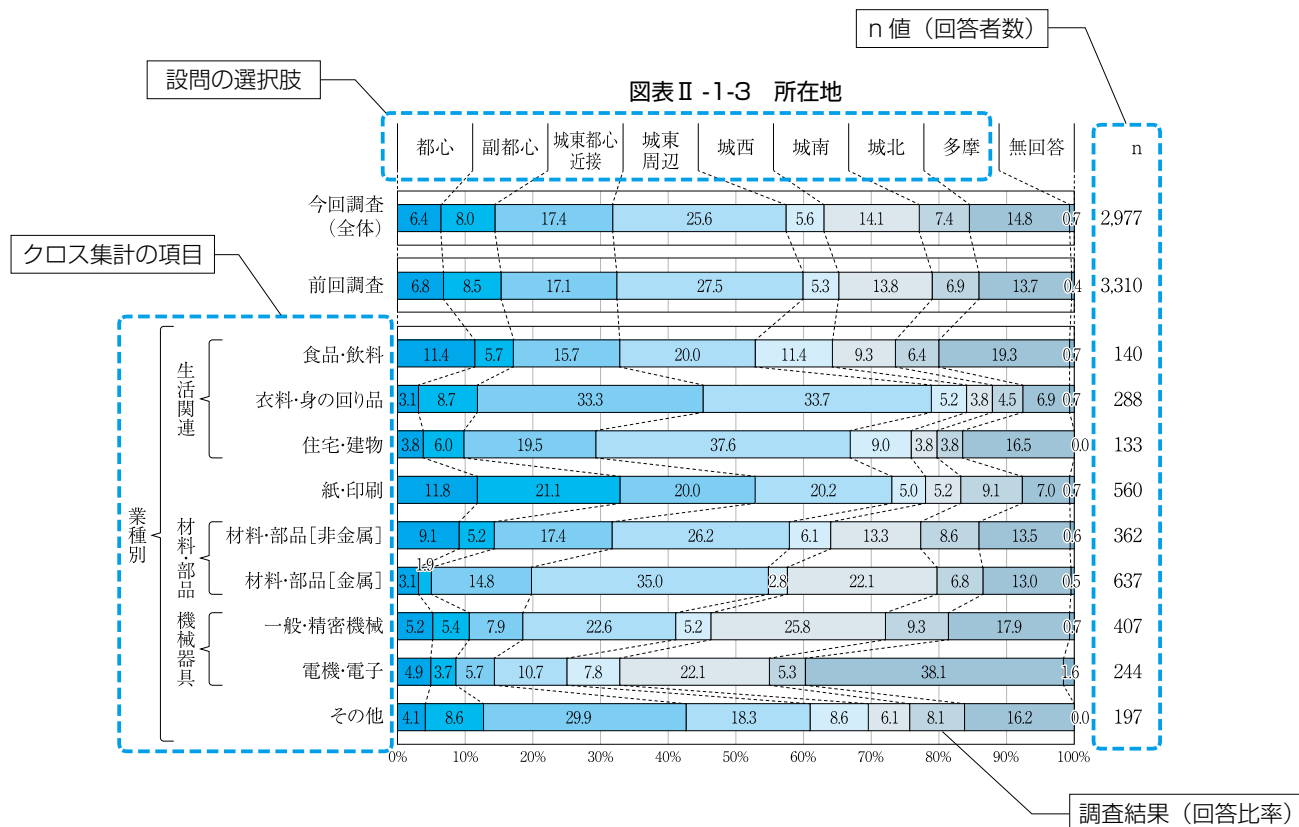
『***』 設問の選択肢をまとめて言及する場合。

例：城東都心近接と城東周辺をまとめて『城東』など

<***> クロス集計の項目をまとめて言及する場合。

例：30 ～ 99 人と 100 人以上をまとめて< 30 人以上>など

【単数回答の図表例】



【複数回答の図表例】

